

「交流」で育む豊かな森・里・人の暮らし

Socioeconomic Analysis of Sustainable Forest Environmental Management through stakeholder collaboration



大浦 由美
OURA Yumi

教授
Professor

専門領域 Areas of expertise

■森林・林業政策

Forest and forestry policy

■森林レクリエーション

Forest recreation

■都市農村交流

Rural-urban interaction

■協働

Collaboration

主な担当科目 Subjects

■観光資源論

■観光と森林

研究活動 Research

自然循環系に配慮した維持可能な社会の実現を目指して、その基盤となる環境・資源・文化ともに豊かな森・里・人の暮らしを未来へと引き継ぐために必要な社会経済システムについて、現在、主として以下のような視点から研究を行っています。

□都市と農村の協働による地域再生の可能性

農林業の営みを通じた森づくり・里山の維持が難しくなった今日においては、農山村地域の自治体や住民、農林業関係者だけでなく、下流域で恩恵を受けている都市域の自治体や市民、企業などとの連携・協働による支援が問題解決の重要な鍵となっています。



写真 1：市民による竹林整備（紀美野町）

□自然（森林・山岳）地域における観光の発展と課題

大規模な産業の立地が難しい農山村にとって、豊かな自然を活かした観光は重要な産業のひとつです。しかし、過度の開発や観光客の集中は、自然環境に悪影響を与え、観光資源そのものの劣化につながります。環境保全・観光地利用・経済活動との適切なバランスを考える必要があります。



写真 2：馬路森林鉄道（高知県馬路村）

ゼミ活動 Education

□文献講読ゼミ

専門書・学術論文を読み、内容について議論します。現代社会における農山村、観光を考える上での基本的な知識を学びます。

□フィールドワーク・ゼミ合宿

県内外の地域を積極的に訪れ、視察・交流・調査活動を行っています。農山村、観光に関わる人々それぞれの立場から、問題を複眼的に見る目を養います。



写真 3：斑尾高原トレッキングコースの看板

□卒業研究／専門研究

ゼミ活動で得た知識と経験を基に、研究テーマの設定から研究計画、調査まで、学生ひとりひとりが主体的に行います。



写真 4：世界遺産・屋久島の木道

卒業論文／修士論文テーマ Thesis

- トレイルラン大会による地域活性化と課題－和歌山県を事例に－(卒業論文)
- 森林サービス産業化に向けた取り組みと課題
－兵庫県内の健康分野での取り組みを事例に－(卒業論文)
- 農家民泊における持続的な経営とその実現に向けた課題－和歌山県日高川町を事例に－(卒業論文)
- 市町村合併がエコツーリズムの推進体制に及ぼす影響－京都府南丹市美山町を事例として－(修士論文)



tourism

Love your place
Share it with the world